

2004年11月25日

新生銀行と楽天証券の証券仲介業務における提携に向けた基本合意について

株式会社新生銀行(代表執行役会長兼社長:八城政基、以下新生銀行)と楽天証券株式会社(代表取締役社長:國重惇史、以下楽天証券)は、本年12月より解禁される金融機関による証券仲介業における提携に向け協議を進めることで合意いたしましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 基本合意の背景

新生銀行は、従来の銀行の概念にとらわれない全く新しいリテールバンキングを開発・提供しています。また、楽天証券は、インターネットを通じた総合サービスの開発・提供で新しいビジネスモデルで成功している楽天グループの一員としてインターネット専門の証券会社の中で確固たる地位を築いています。

この両社は、顧客の視点に立った商品・サービスの開発・提供という理念、迅速で柔軟な経営姿勢で一致し、証券仲介業務を活用することで資産運用に積極的な新生銀行の顧客の証券取引ニーズに応えるサービスを開発・提供しようとするものです。

2. 予定しているサービス内容

両社は、新生銀行のインターネットバンキング「新生パワーダイレクト」を通じて、新生銀行のパワーフレックス口座をお持ちのお客さまに、新しい証券取引サービスを提供するための提携に向け協議を進めてまいります。両社が目指す証券取引サービスの特色は以下の通りです。

1. 「新生パワーダイレクト」を通じた、楽天証券への証券口座開設申し込み(来店不要)
2. 「新生パワーダイレクト」を利用したスムーズな証券の売買注文、残高照会など
3. 新生総合口座パワーフレックスの普通預金の振替を利用した資金の受渡し

パワーフレックス口座は、一つの口座で円預金・外貨預金・投資信託などさまざまな金融商品をご利用いただけますが、そのメニューに株式が加わることとなり、お客さまの資産運用の

選択肢が更に広がることとなります。両社は、今後最終合意を経て平成 17 年 1 月以降のサービス開始を目標に準備を進めてまいりたいと考えております。

新生銀行 概要

新生銀行は、平成 12 年 3 月に新銀行として再スタートして以降、財務体質の強化を図るとともに、収益基盤の多様化、安定化を図るために、投資銀行業務とリテール業務を拡充・強化してまいりました。

平成 13 年 6 月にスタートした個人顧客向けの新しいサービスは、インターネット、ATM、コールセンター及びフィナンシャルセンター(支店)などのサービス・チャネルをベースに展開。「ATM24 時間 365 日手数料無料」や「平日夜 7 時まで窓口オープン」など、従来の銀行の枠組みにとらわれない銀行サービスや金融商品は多くの顧客に支持され、約 3 年で 100 万口座を超えました。

楽天証券 概要

楽天証券は、平成 11 年 3 月に日本で初めて設立されたインターネット専門の証券会社で、平成 15 年 11 月に楽天グループの一員となりました。市場売買代金ではネット証券第 3 位、平成 16 年 10 月末時点で約 20 万 7 千口座を有します。

商品ラインナップは日本株現物・信用取引はもちろんのこと、中国株、米国株、外国為替保証金取引、日経 225 指数先物・オプション、カバードワラント、IPO、投資信託、エンタテインメント投資などネット証券随一の品揃えとなっています。

サービス提供は、WEB、モバイル、コールセンターなどで展開し、特にPC専用ソフト「マーケットスピード」はネット証券界トップのリアルタイムトレーディングツールで 5 万人以上が利用しています。